

ナリス化粧品、主力の兵庫工場敷地内に新工場建設 製造能力 3.5 倍に

需要の多様化に応える変種変量生産強化の体制、2019年5月稼働予定

株式会社ナリス化粧品(代表者：村岡弘義 本社：大阪市福島区)は、2018年4月からスタートしている中期経営計画において「収益基盤革新～強いナリスへ～」を掲げ、さらなる成長と発展を遂げて行くために取り組んでいます。その活動のなかで、現在の主力工場である兵庫工場敷地内に新たな工場を建設し、生産能力の増強を図ることで、化粧品のさらなるタイムリーな製品供給につとめます。

【新工場設立の目的】

ナリスグループは、ここ3期において219億円(2016年3月期)、222億円(2017年3月期)、241億円(2018年3月期)と売上を伸ばし、それに伴い、生産数量も増加しています。現在、国内に2ヶ所(兵庫工場：兵庫県三木市、株式会社ナリス コスメティック フロントピア：兵庫県神戸市) 国外に1ヶ所(NARIS COSMETICS VIETNAM CO.,LTD.:ベトナム ビンズオン省)と3ヶ所の生産拠点をもちます。4つ目の拠点となる今回の新工場の建設で、需要増だけでなく、需要の多様化に対応する効率生産とさらに安全性を追求した工場とすることで、お客様の要望に応えます。



新工場完成予定図

【新工場の特徴】

① 生産動線直線化により、効率性の向上と高い安全性を実現

原材料から出荷まで、一直線・一方通行を実現。物品の混入や、衝突事故などを防ぎます。

② 変種変量生産体制の強化により、多様な仕様、多様なアイテムのタイムリーな生産を実現

増加する国内化粧品需要だけでなく、さらに増加する海外のお客様にも対応。主力の化粧水のような液体化粧品から、ベースメイク品、口紅のような粉体化粧品や固形化粧品など、幅広い種類の化粧品製造をロットの大小に対応して製造できる体制を実現。また今後のお客様の要望の変化にも対応できることを目指します。

③ 作業環境のオートメーション化により、働く人の安全性をさらに充実

ナリス化粧品の兵庫工場は、製造管理と品質管理について、化粧品製造の国際規格であるISO 22716の認証を受けた工場ですが、新工場ではさらに作業員の安全性や負荷を考慮。バルク(中身)の製造エリアの拡大や、生産需要増に対応し、即座にプログラムを切り替え、別工程に再配置できるなど、オートメーション化により、需要の多様化に応え、作業する人にもやさしい環境を整備することで安定供給を実現します。

今回の新工場の建設により、現在の兵庫工場と合わせ、全体のキャパシティとして、製造能力として3.5倍の生産を実現します。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 ナリス化粧品 広報課 横谷(よこたに)

〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目11番17号 TEL:06-6346-6672

FAX:06-6346-6569 E-mail:narispr@naris.co.jp HP:http://www.naris.co.jp

【新工場の概要】

名称：ナリス化粧品 兵庫新工場（仮称）

所在地：兵庫県三木市緑ヶ丘本町 2 丁目 5 番地（兵庫工場敷地内）

工場面積：延床面積 11,763 m²（生産エリア 4,878 m²）

生產品目：液体製品・チューブ製品・クリーム製品・粉体製品など

生産能力：製造 16,192 トン 充填包装 50,000 千個

投資規模：約 60 億円

稼働時期：2019 年 5 月（予定）

■ 会社概要

社名	株式会社 ナリス化粧品
所在地	本社 大阪市福島区海老江 1 丁目 11 番 17 号
資本金	16 億円
代表者	代表取締役 村岡弘義
社員数	678 名（2018 年 3 月末・連結）
売上高	241 億円（2018 年 3 月期・連結）
グループ事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 訪問販売事業 化粧品・健康食品・美容機器・補整下着等の販売/エステティック事業/教育事業■ 海外事業 東南アジア・中国など世界各国における化粧品の開発と販売■ 開発事業 OEM 事業（相手先ブランドによる製品生産受諾販売）■ 通信販売事業 媒体を通じた化粧品販売■ 店頭販売事業 化粧品商社等を通じたドラッグストア・量販店での化粧品販売 直営店による店舗独自の化粧品の販売、エステティックサービスの提供

ナリス化粧品は、1932 年に大阪市福島区で創業し、経営理念として「For others～人様のために」を掲げ、これまで「社員一人ひとりが、人様に役立つ実力を持つ人になる」という自らに向けた誓いとして、一貫して化粧品を通じて皆様に安心と幸福をお届けしたいと願い、歩み続けています。